

トリノフンダマシ *Cyrtarachne bufo* (Bösenberg et Strand)

【選定理由】

県内に広く分布するが、近年は生息適地が減少し、個体数も減少傾向にある。

【形態】

体長雌 8~12mm、雄 2mm。
雌の腹部前方は灰褐色、後方は黄白色。前方両肩は灰褐色で隆起し、その周辺は白い線で囲まれる。雄の腹部先方は褐色で後方は黄褐色。



常滑市常滑字菅場, 2007年10月5日, 緒方清人 撮影

【分布の概要】

県内に広く分布する。
国内では、本州、四国、九州に分布する(新海ほか, 2018)。

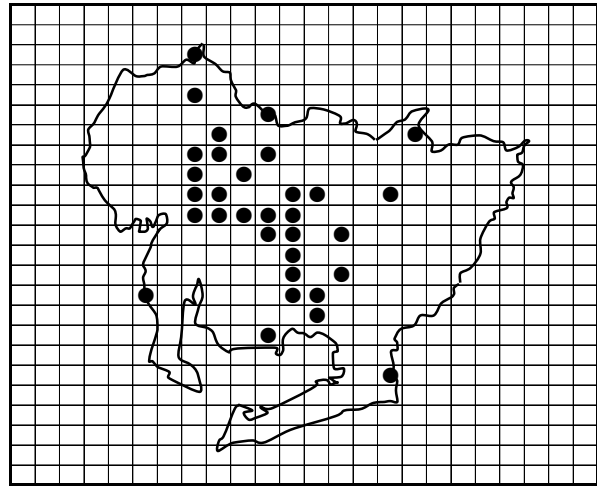
【生息地の環境／生態的特性】

日中は山道や林縁のススキ・広葉樹の葉の裏に静止している。その様子は「鳥の糞」のように見える。夜間に、ほぼ同心円状の垂直円網を張り、主に蛾の仲間を捕らえる。

【現在の生息状況／減少の要因】

開発に伴う生息適地の消滅で、減少傾向にある。

県内分布図



【保全上の留意点】

開発などの際、生息に適した林地・草原を残すなどの配慮が必要である。

【引用文献】

新海 明・安藤昭久・谷川明男・池田博明・桑田隆生, 2018. CD 日本のクモ. 自刊.

【関連文献】

千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. p.82,215. 偕成社, 東京.
八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. p.3. 保育社, 大阪.
新海栄一, 2006. 日本のクモ. p.162. 文一総合出版, 東京.
小野展嗣編著, 2009. 日本産クモ類, pp.427,623. 東海大学出版会, 神奈川.
小野展嗣・緒方清人, 2018. 日本産クモ類 生態図鑑, pp.167,514. 東海大学出版会部, 神奈川.

(緒方清人)